

大村市立病院は

市民の健康を守る期待に

応えていますか
処分場のいらない清掃行政に
どう進めますか

久野議員

(1) 市立病院について

開業医の病院とどう連携、協力し、それを市民病院の経営にどう生かしていますか。

処方箋を扱う薬局と十分な対話ができていますか。

市民の小児医療への期待にどう応えていますか。

広域の住民にも期待される高度医療の分野をどう考えていますか。

患者の薬代を安くする後発の医薬品はどう使っていますか。

後発の医薬品で国保財政の負担はいくら少なくなりますか。

(2) 清掃行政について

処分場の延命策と、何年先まで使用できるのか。

市民の分別で燃やすごみの削減はどれほど進みましたか。

また、「プラスチック・ビニールごみ」と「生ごみ」の分別をどう考えますか。

お年寄りは分別に困っています。お年寄りの分別は特別のごみ袋で「燃やせない・燃やせる」のおおまかな分別にして、燃やせないについては清掃課で特別に回収してほしいという件についてどう考えますか。

病院事業管理者

(1) 初期外来を

開業医に任せて紹介率を上げる等、医療機能分担を進めたい。

以前から対話は行っているが今後調整に努めたい。

医師不足という構造的問題もあり厳しい状況であるが、医師会、医療センターと共に解決策を検討中である。

心臓血管センターに加え歯科口腔外科を新設する。また呼吸器、消化器、腎・泌尿器に絞って高度医療に取り組みたい。

現在の使用率は7.8%である。患者サイドのメリットは大きいので協力したい。

国保財政にも多大な影響を与える分野だと考えている。

市長

(2) 分別収集により今後10年間の延命が図られた。今後も焼却炉の適正な運転管理により灰の量を減らす等、残余年数の延長に努めたい。

市民環境部長

平成16年度の対11年度比マイナス9.8%である。更なる分別は現在考えていないが、減量化策としてコンポスタの無償貸与等再利用する施策を推進している。

リサイクル推進協力員による、出向いての分別指導等に取り組んでいる。また高齢者の方などは申し出により個別での収集対応を行っている。専用のごみ袋については担当課と検討したい。

国の歳出削減に対し

地方の歳入確保策は

北村議員

(1) 総務行政について

財務行政について

市は、平成18年から平成22年の5年間で48億8千万円歳出を削減するとしています。国は平成22年単年度黒字を目標として平成18年から社会保障費、地方交付税を中心に、約20兆円歳出を削減するとしている。

当然その負担は地方がかかることとなりますが、その負担に對し市場公募債を発行する等、歳入の道を探る必要があると考えるが。

(2) 農林水産行政について
林務行政について

昨今、安価な外材の輸入増により国産材の消費が減少し、林業は衰退の一途をたどっている。

県は、林業生産活動が継続して行われるよう県産材の利用促進を勧めているが、市においても搬送作業路への補助、分収林の間伐促進、県補助事業を取り入れた建設促進、林業従事者の高齢化対策にどのような施策を持つておられるか。

市長

(1) 第2次財政健全化計画の中での確な歳入見込みと行革の効果による歳出削減を柱として将来にわたり健全で自立した財

政運営に努めたい。組織の見直しや事業の再編整理により社会保障費の総量抑制及び行政負担の軽減に努めたい。ミニ公募債については、単発的な発行では事務手続きや事務手数料が高くつくため、市単独での発行は厳しいと思われるが、県などと同で発行する事例もあり、今後実現する方向も踏まえ調査研究を進めたい。

農林水産部長

(2) 本年度から

国・県の補助事業に対して市の上乗せ補助を行っている。

伐採可能な時期にきているが林業の採算性は著しく悪化しており手付かずの状態である。補助事業等により搬出コストを下げ、森林整備できるよう南部森林組合と協調して推進したい。

市長

市の施設等についてできる限り採用の方向で努力したい。

教育次長

北部コミセンについて県の補助金交付要項の条件をクリアできれば県産材の利用促進という前提で検討したい。

市長

長崎森づくり担い手対策事業を県と共に進めている。大型機械導入による労働軽減等、若者の就業しやすい環境づくりを行っていく。

(その他の質問事項)

行政の実務について
(無効・取消・撤回)の要件について。